

●イラク風刺画展

Cartoons of Iraq ●

日程:1月30日(土)~2月14日(日)

イラクが見える

提供:イラク平和テレビ局in Japan

スレイマニア美術館で展示された風刺画のパネル展。作者はサルダール・アブドゥラー氏。風刺画の題材は政治風刺が多く、米軍による占領下で利権を争い、人々を傷つける政治支配を痛烈に批判している。イラク北部のクルド地方政府の腐敗ぶりにも民衆の批判精神を鋭く突きつけている。日本国内では殆ど紹介されたことのない、イラクの風刺と諧謔の世界をごらんください。



Bush Goal



Artist: Sardar Abdullah(サルダール・アブドゥラー)

人間は笑うことのできる唯一の生き物だ。
人間以外にこの重要な能力を発達させることに成功した生き物はいない。
人間から笑いを奪うのはとても残酷なことだ。それは死に直結するからである。
ゆえに、人間はたとえ命の危険にさらされようとも笑いを取り戻すために闘うのである。

中略

私の風刺画は、人生に喜びと楽しさを与える本物の笑いの探求であり、人々の口元に笑いのあふれる世界への希求であり、笑いの共和体制の追求である。
そして生きる力をむしばむ、まがい物の間違った笑いに対する宣戦布告である。

作者のHP

<http://sardar.exto.org/>

〈サナテレビ〉

IFC(イラク自由会議)は武力によらない反占領の闘いと武装勢力の対市民暴力を一掃する取り組みの先頭に立っている。2007年4月、IFCはSANA衛星テレビ局(SANAは「光」の意味)を開局した。開局の費用として日本をはじめ全世界の市民から50万ドルのカンパが集められた。

SANAテレビは、占領下の市民の厳しい生活を明らかにするとともに、イラクの石油を世界の巨大資本が奪い取ろうとする石油法に対する反対運動など、イラク民衆の平和と民主主義の闘いをイラク全土と中東全域に伝えている。

イラク平和テレビ局in Japanはアラビア語(一部クルド語)で放映されているサナテレビの番組に日本語のナレーションを付けた番組をインターネットで有料配信している。その収益はSANAテレビの番組制作費用にあてられる。

イラク平和テレビ局のHP: <http://peacetv.jp/>

場所:AManTo Cocoro Museum
大阪市北区浮田町1-5-26

天神橋筋六丁目13番出口 徒歩3分
ブログ<http://acocoro.seesaa.net/>

Open: 12:00

Close: 20:00

※スタッフが不在の時も
ありますので、ご確認
ください。

